



平成30年度

決算6会計を認定

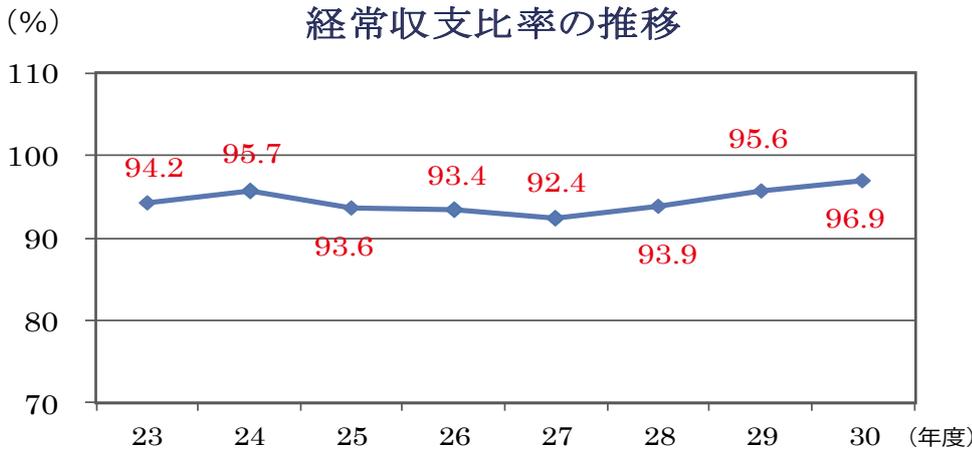


経常収支比率

人件費・扶助費・公債費などの経常的な支出が、市税や普通交付税などの経常的な収入に占める割合のこと。

この割合が高いほど、財政の柔軟性がないことになる。
 昨年度から1・3ポイント上昇し若干悪化している。

経常収支比率の推移



¥ ----- ¥ ----- ¥ ----- ¥ ----- ¥ ----- ¥ ----- ¥ ----- ¥



全6会計の決算額



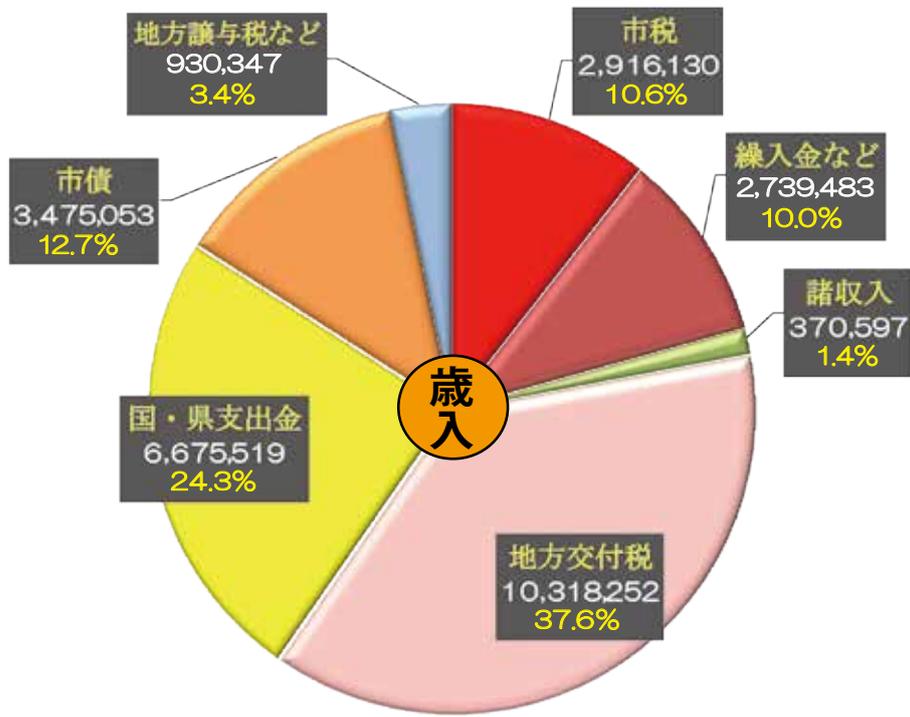
		歳入	歳出	差引額
一般会計		274億 2,534万円	264億 7,849万円	9億 4,684万円
国民健康保険事業特別会計		50億 3,140万円	53億 9,672万円	△3億 6,532万円
後期高齢者医療特別会計		6億 428万円	5億 9,546万円	883万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計		4,884万円	4,206万円	678万円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億 1,479万円	52億 3,309万円	8,170万円
	サービス事業勘定	6,870万円	6,870万円	0
水道事業会計	収益的収支	7億 1,202万円	6億 658万円	1億 544万円
	資本的収支	1億 4,601万円	4億 5,066万円	△3億 465万円

一般会計決算の状況



嘉麻市の歳入と歳出を
グラフで見てみよう

単位：千円



豆知識
～行政用語は難しい①～

【地方交付税】市の収入の格差を少なくするため、国から交付される資金。主なものとして、所得税・酒税・消費税・たばこ税などの税

【国・県支出金】国から市への補助金で、使途が定められた財源（特定財源）

【市債】学校などの公共施設を建設する場合に、多額の費用が必要なもののために、銀行などから調達する長期的な借入金



豆知識
～行政用語は難しい②～

【総務費】庁舎の管理、選挙、統計調査などの経費

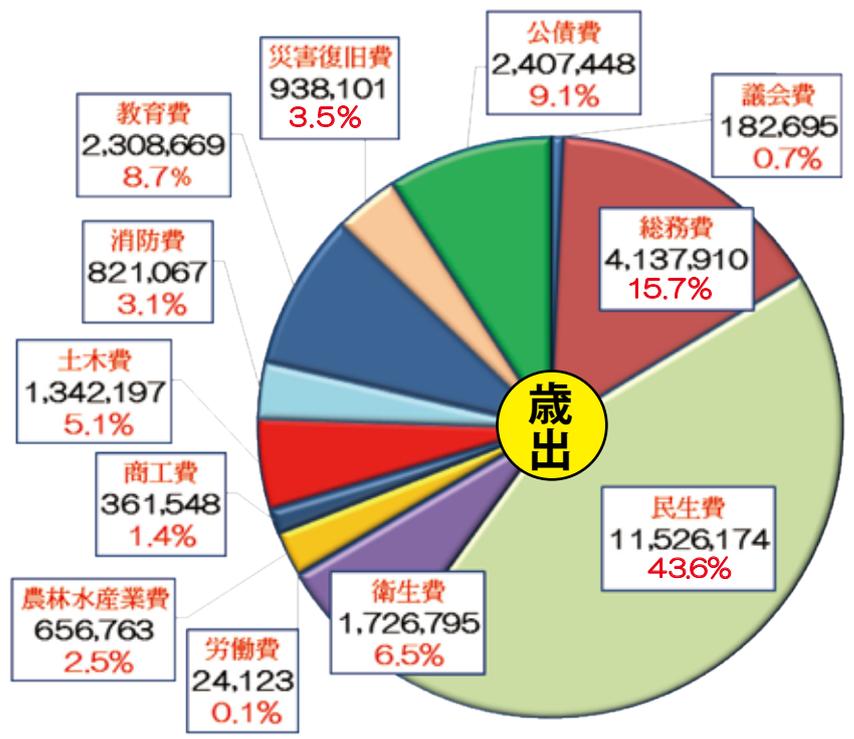
【民生費】高齢者や障がい者などの福祉、生活保護費、保育所の運営などの経費

【衛生費】ごみの収集・処理や環境を守る活動などの経費

【教育費】小・中学校の教育や校舎の管理・公民館や図書館の運営などの経費

【労働費】高齢者雇用対策やシルバー人材センター事業などの経費

【公債費】市債の返済のための経費



単位：千円